

主催事業紹介「小林カレッジ」

第2回 6月8日(土)「トールペイントに挑戦してみよう！」参加者19名

トールペイントは、ヨーロッパ、アメリカで広まった画法で家具などの木製品に絵の具を塗るフォークアートです。15世紀後半、ヨーロッパでトール(フランス語でブリキの意)に絵を描いたことが始まりとされています。



受講生のみなさんは、それぞれお気に入りの色の木箱に合う花柄の図案を選び作業開始です。まず木箱に図案をテープで止め、



転写紙を挟んで書き写します。そして色付けです。お手本を見ながら最初に緑と白の絵の具で葉から描いていきます。緑と白を混ぜたり、緑を濃くしたり白を濃くしたり工夫して描いていきました。葉を描いて終わると次は花です。花は白と赤やピンクなどの絵の具を使って描いていきます。そして最後に小花を描いて終了

です。はじめは少し戸惑いもあったようでしたが慣れるに従って自分なりの工夫やより大胆な筆遣いも見られるようになりました。仕上げにニスを塗って完成です。先生のアドバイスで、金粉や銀粉を散りば



めて少しゴージャスに仕上げるなど、思った以上に素晴らしい作品ができあがりました。

皆さん時間を忘れるほど作業に熱中し、子どもに返ったように生き生きと筆を動かしていたのが印象的でした。

